

令和4年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市戸塚区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

多目的研修室の長机が経年劣化により安全性に欠けていたため、新たに購入して設置した。また点字製作室のホワイトボードについても拠点利用団体より要望があったため設置した。

コロナ対策として、消毒や換気の徹底、空気清浄機の活用により、安心して利用いただけるように配慮している。

(2)拠点の利用促進に関すること

コロナの状況も落ち着きが見られ、稼働率に伸びが見られた。

拠点抽選会は引き続き FAX 等で事前に連絡をいただく形で実施しており、利用団体の負担軽減を図っている。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	444	485	178	93.8	93.0	62.1
多目的研修室	169	189	145	69.5	77.8	59.7
点字製作室	88	119	49	36.2	49.0	20.2
録音室	87	164	1	35.8	67.5	0.4
対面朗読室	116	138	19	47.7	56.8	7.8

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	173	142	7	86.3	75.0	14.0
多目的研修室	76	55	8	67.0	49.2	16.0
点字製作室	8	15	0	7.2	14.2	0
録音室	18	74	2	15.8	64.0	4.0
対面朗読室	37	24	0	35.3	21.8	0

(3)拠点のサービスの向上に関すること

業務上の改善や利便性を高めるために常勤職員ミーティング・非常勤職員ミーティングを定期的に行い、情報共有の徹底を図り、意見交換を行った。
窓口満足度調査を行い、利用者・団体からの意見をもとに改善策を職員間で検討し、サービスの向上に関する対応を徹底した。また、個人情報の取り扱いについて理解を深め、多様な利用者に配慮した対応ができるように努めた。

(4)利用調整会議等の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、3月の調整会議は書面開催とした。調整会議書面開催により、「点字製作室にはホワイトボードがないので、備付してほしい」等6団体よりご意見をいただいた。

開催実績	1回
参加団体数	114団体

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

コロナの状況により活動ができないボランティアも多いため、活動の披露と情報交換を目的に「ボランティアのつどい」を開催した。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

ボランティアセンターの広報紙を年4回発行し、登録者等への郵送、公共施設への配架、ホームページへの掲載により、情報発信を積極的に行った。
相談対応の際には、ニーズに応じ、情報を選別し、適切な情報提供を行うとともに、拠点内にあるボランティア情報提供のためのパンフレットコーナー・掲示板について、随時更新し、新しい情報が手に取れるように心がけた。
また、FM とつかで、ボランティアセンターの紹介等を行った。
区民活動センターとも連携し、共催の講座やボランティア関係事業について情報交換を行い、お互いのボランティアコーディネートに活かしている。

(3)ボランティアに関する相談、紹介

コロナの感染拡大状況が落ち着いた時期もあり、昨年度と比較すると依頼件数、調整件数ともに増加している。しかしながら、施設からの依頼、特に高齢者施設からの依頼は休止しているところが多いため、その他の活動先をご紹介する等の対応を行った。
障がい児・者関連のケースについては、移動情報センターとも適宜情報交換を行い、登録ボランティアを紹介する等、区社協全体として地域の相談対応にあたった。

登録人数	個人	新規	71
		累計	406
	団体	新規	1
		累計	52
相談件数			2,582
依頼件数			127
紹介人数			89
調整数			1,938

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

区民活動センターと共催し、ボランティア初心者向けに、ボランティア活動紹介や基礎知識について知る講座を年3回開催した。とつか区民活動センターは、オンライン講座として実施した。

また、本会のボランティア分科会及び市民活動推進分科会は、各々1回開催の他、合同分科会として研修1回、分科会1回開催し、会員同士の交流や情報共有を図ることができた。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

区社協会員各部会から選出される理事・評議員による理事会・評議員会の中で、各分科会の課題共有を図り、会員間のネットワーク構築や地域課題の共有を行った。各機関がより課題解決の幅を広げ、地域内でのつながりを作り、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を作り出すためのネットワークが形成された。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

とつかハートプラン推進委員会へボランティア市民活動分科会から選出の委員も参加。地域の福祉保健課題の把握とその解決に向けて取り組んだ。

4 その他

(1) 職員体制、育成

毎朝夕のミーティングを行い、拠点の引継ぎ事項を確認し、全職員が共通認識を持つように心がけた。

拠点職員は業務日誌に記録することで日中と夜間の職員交替時の業務引継ぎや連絡事項を共有した。

また、職員育成のため、年2回の職員全体研修及び年1回の接遇研修を実施し、個人情報保護、リスクマネジメント、窓口対応マナーについて学んだ。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

午前9時～午後9時（月～土）

午前9時～午後5時（日・祝）

<休館日>

年末年始：12月29日～1月3日

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

- ・電気工作物点検（年次・月次）年1回・隔月1回
- ・エレベーター点検 年4回
- ・消防設備点検 年2回
- ・自動ドア整備 年2回
- ・空調設備清掃点検 年1回

<清掃業務について>

毎日の日常清掃の他、年12回定期清掃を実施することで、快適に拠点を利用できる環境を整えた。

<警備業務について>

館内・外から事故や犯罪の発生する要因を排除することにより、未然に事故や犯罪を防止した。また、職員による夜間の巡回（1日1回）を行い、機械警備を契約して閉館時の侵入者を察知・自動通報する警備システムを設置することで閉館後の防犯・安全に努めた。

<外構施設について>

誰もが利用しやすい施設を意識し、季節の花々を植えた花壇の管理や外用掲示板の有効活用を行った。また、路上駐車対策を行い、近隣住民へ迷惑がかからないよう定期的に見回りを行った。

イ 苦情受付体制について

<対応手順>

「横浜市戸塚区社会福祉協議会 苦情解決規程」に沿って、苦情解決責任者及び苦情受付担当者を置き、苦情解決に関する速やかな対応に努めた。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

区社協の運営するホームページ内に苦情解決規程を掲載し、拠点受付に苦情解決責任者・苦情受付担当者名を掲示して広く市民へ苦情解決の取組を周知した。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<職員の役割分担>

災害時の初期消火・避難誘導・通報等の担当を定め、災害時の迅速な対応が出来るように努めた。また、年2回の防災訓練を実施した。

<地域や他機関との連携体制>

危機管理マニュアルの活用と関係機関への連絡・通報を迅速に行った。拠点利用団体を対象とした防災訓練（避難経路の確認、消火訓練等）を年1回行った。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報保護に関する条例」及び「社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報の保護に努めた。取組については「個人情報保護に関する方針」及び各種事業ごとの「個人情報取扱業務概要説明書」を拠点窓口で周知し、区社協ホームページでも公開した。また、職員を対象とした「個人情報取り扱い研修」を行った。

オ 環境への配慮及び取組について

<ごみの発生抑制に関する取組>

紙類を含めたごみの分別や詰め替え式事務用品の活用によるごみの減量化に努めた。利用者に対しては、ごみは持ち帰りとし、館内の掲示板や利用調整会議等で周知徹底した。

<再利用・再使用に関する取組>

裏紙の利用促進や詰め替え式消耗品の活用にも努めた。

<リサイクルに関する取組>

物品の購入について、リサイクル可能品を重視、購入に努めた。また、横浜市の分別ルールに沿って古紙再利用などのリサイクルを行った。

<温室効果ガス排出抑制への取組>

拠点内各所や空調機リモコン横に、適切な室温設定への協力を呼びかける掲示をすることで利用者に広く協力・周知を図り、節電に努めた。

令和4年度 横浜市戸塚区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,528,000	215,000	16,743,000	16,368,176	374,824	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
横浜市による運営支援		322,000	322,000	322,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援（追加分）					0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による追加分の運営
横浜市による運営支援（その他）					0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援（そ
雑入	280,000	0	280,000	241,069	38,931	
印刷代	280,000		280,000	201,970	78,030	
自動販売機手数料			0	39,099	△ 39,099	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	16,808,000	537,000	17,345,000	16,931,245	413,755	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,654,760	0	9,654,760	9,560,945	93,815	
給与・賃金	8,761,760		8,761,760	8,453,079	308,681	
社会保険料	550,000		550,000	522,714	27,286	
通勤手当	340,000		340,000	391,452	51,452	
健康診断費	0		0	6,600	6,600	
勤労者福祉共済掛金	3,000		3,000	6,000	3,000	
退職給付引当金繰入額	0		0	181,100	181,100	
事務費	1,997,940	215,000	2,212,940	2,266,172	△ 53,232	
旅費	2,000		2,000	0	2,000	
消耗品費	443,430	15,000	458,430	411,790	46,640	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	162,710		162,710	101,263	61,447	
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	21,120	△ 21,120	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	1,000,000	200,000	1,200,000	548,900	651,100	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	4,000		4,000	4,100	△ 100	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	13,000		13,000	16,775	△ 3,775	
リース料	267,000		267,000	305,844	△ 38,844	
手数料	0		0	500	△ 500	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	95,800		95,800	855,880	△ 760,080	
事業費	500,000	0	500,000	500,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	500,000	0	
ICT整備費（追加）	0	0	0	200,000	△ 200,000	
ICT整備費（追加）			0	200,000	△ 200,000	
管理費	3,853,300	322,000	4,175,300	4,331,630	△ 156,330	
光熱水費	1,178,100	322,000	1,500,100	1,414,227	85,873	
清掃費	2,043,000		2,043,000	1,968,175	74,825	
修繕費	300,000		300,000	227,502	72,498	
機械警備費	191,400		191,400	191,400	0	
設備保全費	140,800	0	140,800	68,200	72,600	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	68,200		68,200	68,200	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	72,600		72,600	0	72,600	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	462,126	△ 462,126	
公租公課	802,000	0	802,000	0	802,000	
事業所税	802,000		802,000	0	802,000	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0		0	
支出合計	16,808,000	537,000	17,345,000	16,858,747	486,253	
差引	0	0	0	72,498	△ 72,498	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	500,000	0	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 500,000	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	39,099	△ 39,099	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	17,979	△ 17,979	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。